

令和6年度 生活支援体制整備事業における取組

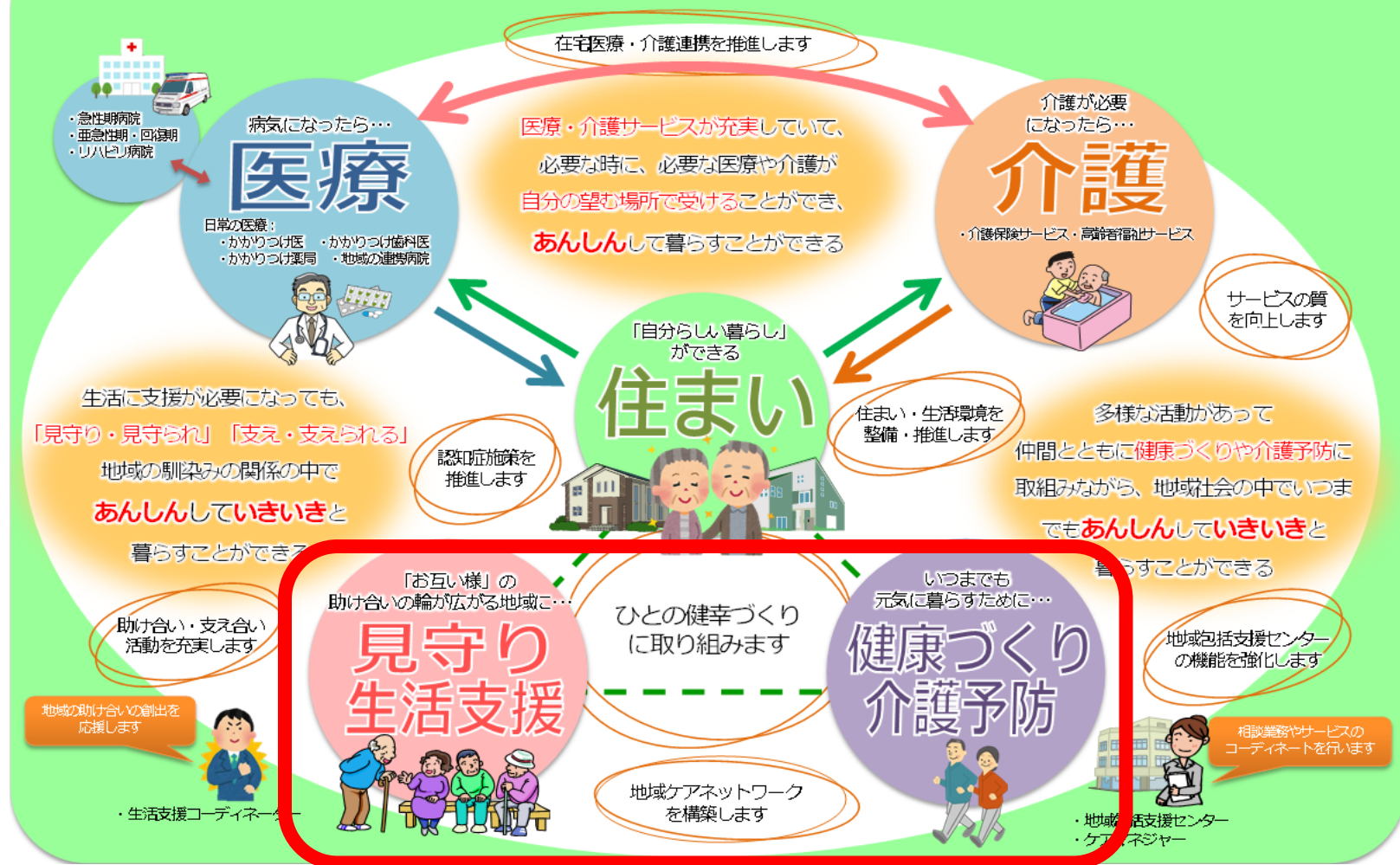
草津市 人とくらしのサポートセンター

生活支援体制整備事業 概要

地域包括ケアシステムの構築について

高齢化の進展だけでなく、単身世帯や高齢者のみの世帯が増加し、支援を必要とする高齢者が増加することで、生活支援の必要性が増大していく中・・・

草津市がめざす地域包括ケアシステムの姿



誰もが暮らしやすい地域づくりをいかに進めるか

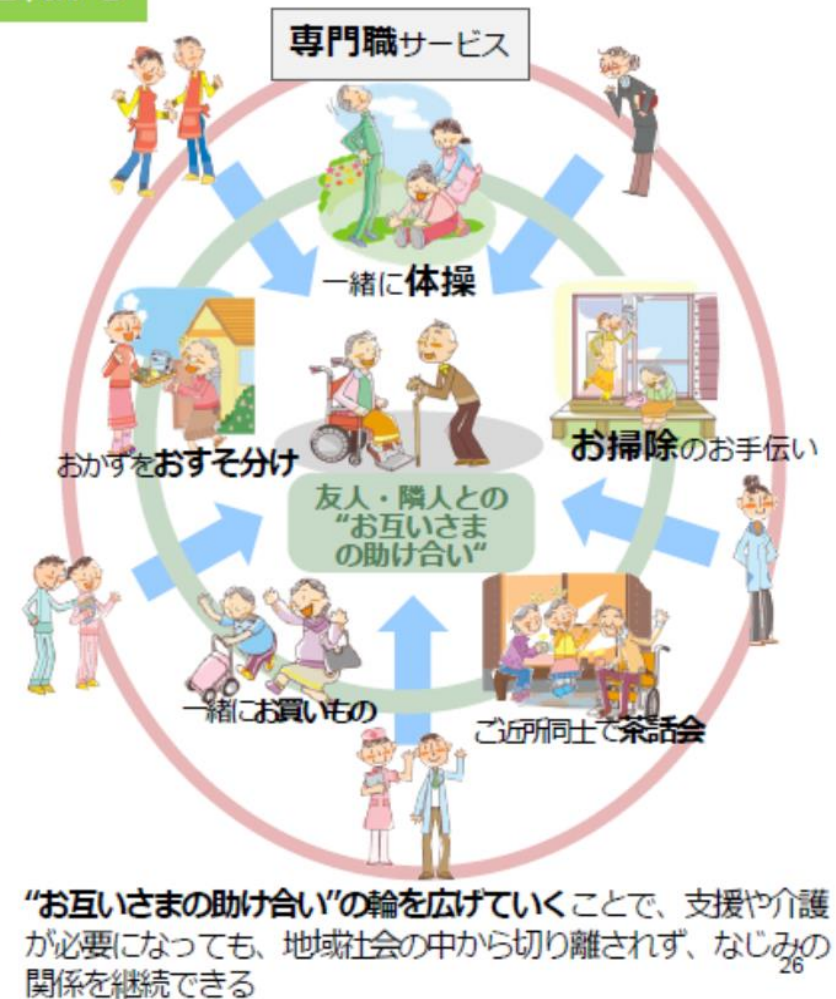
地域包括ケアシステムの構築について

医療・介護のサービスが充実しただけでは、365日地域で暮らし続けることは容易ではありません。介護が必要になる前から地域で気かけ合い・見守り合い・支え合うことが重要です。

現状の課題



これから

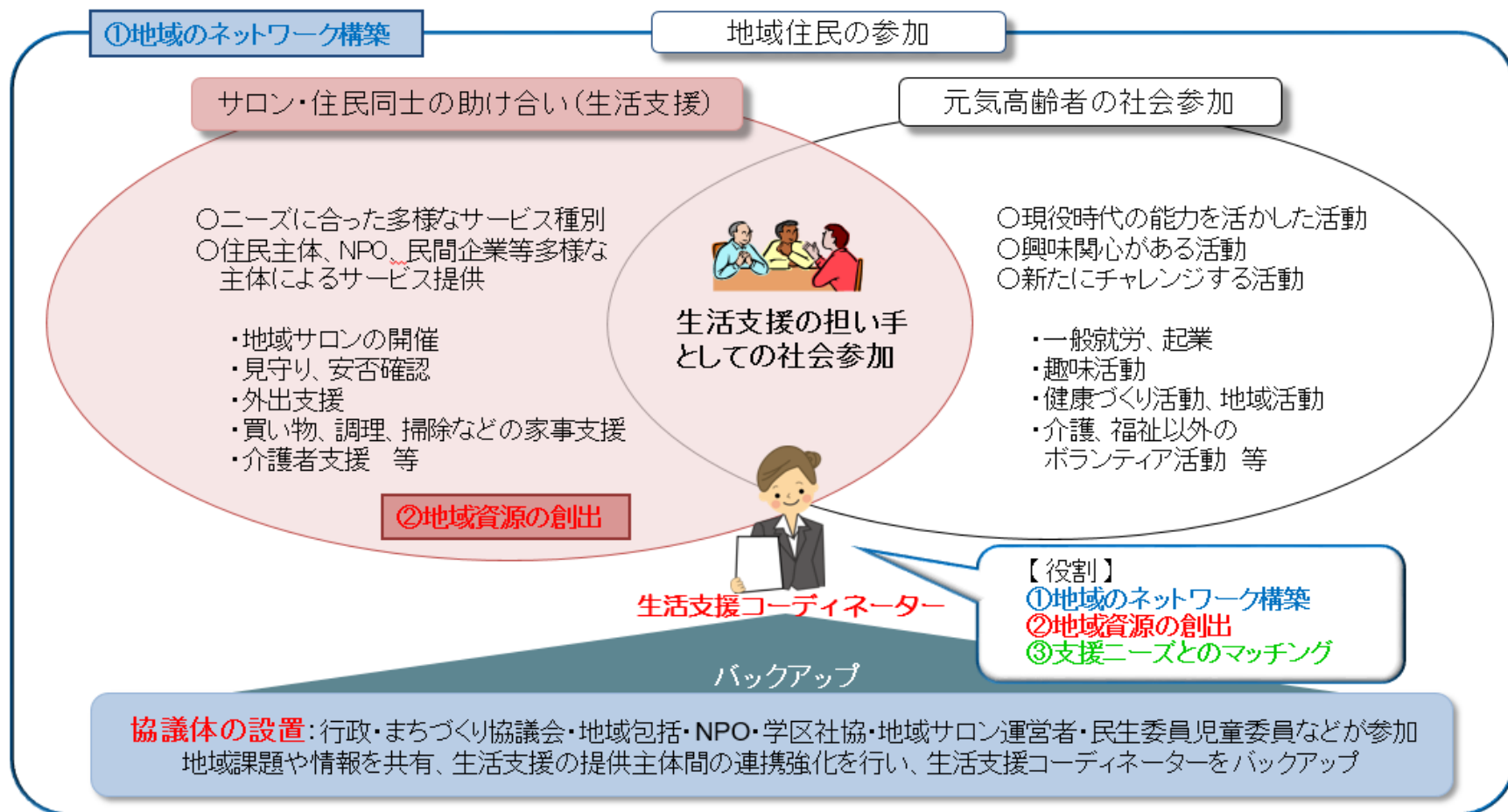


基本目標Ⅰ 住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくり ～地域包括ケアシステムの深化・推進～

事業

生活支援体制整備事業の推進

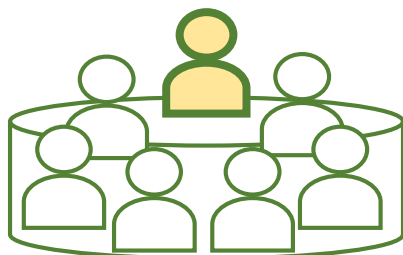
生活支援体制整備事業は、生活圏域ごとに生活支援コーディネータの配置と協議体を設置し、多様な主体による生活支援体制の充実・強化など、地域における支え合いの体制づくりを推進するとともに、高齢者の社会参加や生きがい、介護予防を一体的に推進していくことを目的に実施する。



本市における協議体・コーディネーターの配置・構成

第1層（市域全域）

第1層SC
（人とくらしのサポートセンター職員）



草津市あんしんいきいきプラン委員会

第1層協議体

【第1層SCの役割】

市域全域（第1層）において、

- ◎地域横断的な課題の抽出や資源の充実
- ◎ネットワークの構築
- ◎第2層SCの支援

【第1層協議体の役割】

市域全域や複数の第2層協議体に関わる広域的観点から

- ◎地域課題の解決に向けた検討
- ◎地域づくりにおける意思統一（方向性の共有）の場
- ◎地域づくりを推進するための施策等の検討

※平成31年2月27日開催の第3回草津市あんしんいきいきプラン委員会において、草津市あんしんいきいきプラン委員会を第1層協議体と位置付けることを了承いただいています。

第2層（小学校区）

第2層SC



第2層協議体

第2層SC



第2層協議体

第2層SC



第2層協議体

【第2層SCの役割】

各小学校区（第2層）において、

- ◎地域資源とニーズの把握
- ◎ネットワークの構築
- ◎地域資源の新たな創出
- ◎ニーズと取組のマッチング

※第2層SCは草津市社会福祉協議会に委託し、各小学校区ごとに配置

※第2層協議体・・・「学区の医療福祉を考える会議」

第2層協議体「学区の医療福祉を考える会議」について

医療福祉を考える会議とは

地域住民と医療・介護・福祉の関係者が集まり、地域のネットワーク構築を図りながら、地域の現状や課題を共有し、課題解決について話し合い、地域における支え合い活動を広げていくことを目的に、各小学校区ごとに開催される会議（令和6年度時点：13学区にて実施）

開催主体

地域の団体、市社会福祉協議会、地域包括支援センターなど

メンバー

各学区の実情、課題、取組内容に合わせて選定

地域：学区社会福祉協議会、まちづくり協議会、民生委員児童委員等

医療・介護・福祉関係：医師（地域の開業医）、介護サービス事業所等

市社会福祉協議会、地域包括支援センター、人とからしのサポートセンター（地区担当保健師）

これまでの取組

- ・資源マップ、居場所マップの作成
- ・地域カフェの開始
- ・地域支え合い運送の開始
- ・地域安心声かけ訓練の実施 など

第2層SC



第2層協議体「医療福祉を考える会議」

草津市における 令和6年度の実施計画

目指す姿: 住み慣れた地域で自分らしく安心して暮らし続けられる地域づくり

ねらい・方向性

- ・市社会福祉協議会に第2層SCを配置し、市・地域包括支援センターとの連携のもと、各学区での協議体の設置・運営に向けて取り組む。
- ・第2層協議体では解決が難しい地域横断的または市全域の課題として検討が必要な事項については、第1層協議体において取り組む。

R6年度方針

- ・第2層協議体である学区の医療福祉を考える会議において、地域の各団体や専門職が地域の現状や課題について共有し、高齢者が自分らしく安心して暮らし続けられる地域づくりを促進する機会をもつ。また、メンバー同士の顔の繋がる関係を促進する。
- ・第1層協議体である「草津市あんしんいきいきプラン委員会」において、第2層（各学区）の課題や取組状況について共有し、市域全体として検討が必要な課題や方策等について協議する。

第1層 取組実績と今後の方向性

第1層SCの取組(R6)

各学区の現状・課題と、SCとして活動をすすめる上で困難と感じていること等について、第2層SCからのヒアリングを実施した。



第2層SCが活動をすすめる上で困難と感じていること

市域全域に関わる課題

⇒第1層協議事項

市社会福祉協議会・地域包括支援センター・市の各々の役割が明確ではなく、共通認識をもてていないことで、連携のとりづらさがある。



地域の担い手不足は市全域の課題であり、担い手の高齢化や、新たな担い手がないことで、今後地域活動の継続や、新たな地域資源の創出が困難となる可能性がある。

市社会福祉協議会・地域包括支援センター・市の各々の役割について整理し、共通認識をもって医療福祉を考える会議に参画、連携できるよう、検討をすすめている。

次年度に向けて

- ・市社会福祉協議会・地域包括支援センター・市が共通認識をもてるよう、また第1層で整理すべき課題を集約できるよう、情報共有や意見交換の場を設け、更なる連携を図る。
- ・第2層にて把握される課題の吸い上げを行い、市域全域や複数の第2層協議体に関わる課題について整理をすすめる。

第 I 層協議事項

協議事項

市域全域や複数の第2層協議体に関わる課題の検討

担い手不足に関する課題

地域の担い手となる人の高齢化がすすんでおり、また新たに担い手となる人がいないことから、担い手が不足し、負担が集中している。新たな地域資源の創出はもとより、今後は今ある活動の継続も困難となる可能性がある。



- ・地域での活動に取り組む民間企業等を含む多様な主体との連携が必要
- ・担い手確保のために市・市社会福祉協議会等で行っている取組をうまく繋げられるような仕組みづくりが必要

担い手の創出・養成

生活支援サポーター養成講座
介護予防サポーター
子育てサポーター
草津市福祉教養大学
滋賀県レイカディア大学 など

ボランティアセンター
シルバー人材センター
ファミリーサポートセンター など

担い手の確保・集約

協議事項



担い手確保のために各々が行っている取組をうまく繋げるためにはどのような仕組みがあるとよいか、ご意見をお伺いします。